

渡邊 庸平 Yohei Watanabe

“Giant Chorus”

2019年3月16日(土) - 4月14日(日)

オープニング：3月16日(土) 18:00-20:00

水 - 土 11:00 - 19:00 / 日 12:00 - 17:00 (月・火・祝 休廊)

HAGIWARA PROJECTS

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-18-2

サンビューハイツ新宿 101

Tel & Fax: 03 6300 5881

E-mail: info@hagiwaraprojects.com

www.hagiwaraprojects.com



この度3月16日(土)より、ハギワラプロジェクトにて渡邊庸平による個展「Giant Chorus」を開催いたします。

渡邊は1990年生まれ、現在、東京藝術大学博士課程に在籍中。これまで、KomagomeSOKOでの個展(2017)や、4649(巣鴨・2018)で二人展を行うなど、今後の活躍を期待される若手作家の一人です。当画廊では初めての個展となります。

主に映像やインスタレーションを中心に制作する渡邊は、機械操作によって大判の布が緊張と弛緩を繰り返す作品や、何枚もの布を掛けた大きな鉄の構造体など、空間を支配するインスタレーションをはじめ、木材で猫を模った折りたたみ可能な立体や、自身の身体の部分が歪んだ形で映る写真といったイメージを断片的にとらえた作品など、様々な形態を使って世界観を表現します。共通するのは、それらの作品はどれも一貫して詩的かつ繊細であり、視覚を通して触覚にざらっと触れてくるような生々しい質感も持ち合わせているところです。また一方で作品の表象には、座標や時空といったSF的な観点が込められ、知覚的な深みを持たせるだけでなく、広いスケール感で人間の想像力を捉えようとする作家の試みが見て取れます。

今回の展示では、複数配置された鉄パイプの立体にアニメーションを投影したインスタレーションを展示する予定です。渡邊の作品のテーマのひとつである光について、反射や屈折といった現象を通して知覚する世界の見方を描きます。ぜひご覧ください。

作家略歴：

渡邊 庸平 (わたなべ ようへい)

1990年福島県生まれ、埼玉県在住。東京藝術大学博士課程在籍。主な展覧会に、「4 boxes and pyramids」4649 (2018, 東京)、「渡邊庸平：猫の肌理、雲が裏返る光」KomagomeSOKO (2017, 東京)、「SPVI II」Turner Gallery (2015, 東京)、「THE EXPOSED#9 passing pictures」g/p Gallery 東雲 (2015, 東京)、「at work」東京芸術大学 Yuga Gallery (2013, 東京) など。